

9. 美作市東粟倉地区

× 岡山理科大学（黒田研究室・大藪研究室）

趣旨・目的

美作アルプスの豊かな自然、後山に残る歴史・文化資源、そして魅力的な特産品を持つ東粟倉地区の魅力を、学生の視点で再発見し、新たな価値を提案することで、この地域を訪れる人を増やし、地域活性化につなげていく。そこで、（1）後山を中心とした観光プランの提案、（2）棚田米のブランド化という課題に取り組み、その解決策を模索する。

主な取組

後山を中心とした観光プランの提案

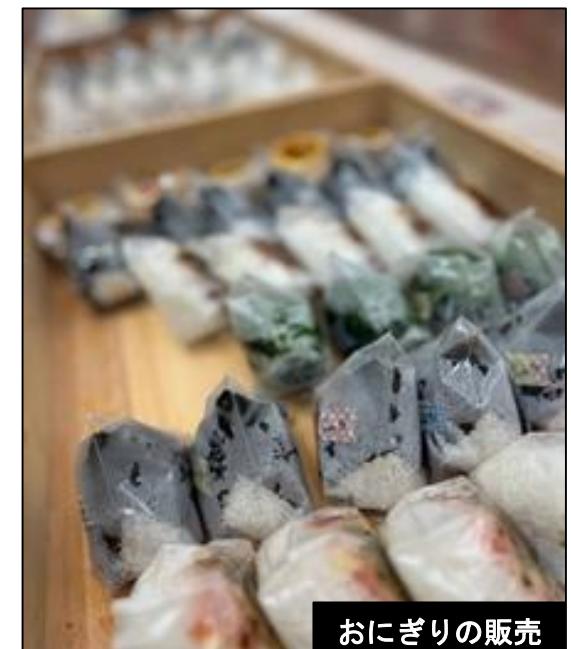
東粟倉地区を含む美作市の観光資源を調査・発掘し、それらを活用した観光プランを提案する。この地区の自然・歴史・文化は、国内外からの観光客を迎えるポテンシャルを有している。そこで、これらの魅力をチラシやSNS等で効果的に発信する方法の研究と観光プランを立案する。

東粟倉地区の棚田米のブランド化

東粟倉地区では、棚田で育てた米を収穫後に天日干しで乾燥させ、精米する農家がある。美作アルプスを源流とするミネラル豊富な水と、天日干しによる熟成を経た棚田米は、格別な味わいを持つ。そこで、この棚田米のブランド化に向けた戦略を検討し、地域の特産品としての価値を高める方法を考案する。

Instagramを活用した若者向けの情報発信

「SNSの力で東粟倉地区の魅力を発信し、地域活性化につなげる」ことを目的に、Instagramアカウント「あわらぼ」を開設した。SNSによる地域活性化の成功事例の調査と、効果的な活用方法を分析し、「映える写真」と「ハッシュタグ」を意識した投稿を行った。



成果

- ・美作市を目的地として訪れる若者を増やすため、車で巡るモデルコースのパンフレットを作成した。このコースは、東粟倉地区を含む美作市の自然の魅力を伝えることを目的としている。コース概要は、岡山駅を出発し美作市内を巡った後、最終目的地として東粟倉のグランピング場へ向かう1泊2日のドライブプランである。移動時間や滞在時間を考慮し、実用的な構成にするとともに、持ち運びやすい小型サイズのパンフレットとした。また、裏面を中国語版とし、中華圏の旅行者にも対応できるように工夫した。
- ・棚田米の美味しさを広めるため、おむすびの販売を実施した。まず、岡山市内に拠点を持つおにぎり専門店「おにぎりや日向」と「マチャーグワ」を訪問し、使用している米の品種やこだわりについてヒアリング調査を行い、おにぎり販売の可能性を検討した。その結果、「おにぎりや日向」との協力を得て棚田米のおにぎりを準備した。認知度向上とブランド化を目指し、「岡山Vintage Caravanどんぶらこ」での試食会、「おにぎりや日向」とのコラボによる大学内販売、表町商店街で開催されたストリートマーケットでの販売を実施した。全てのイベントで準備したおむすびを完売することができた。
- ・「あわらぼ」はタウン情報おかやまの公式アカウントや、岡山県東粟倉村・西粟倉村の観光課の公式アカウント、東粟倉のグランピング施設の公式アカウントから認知され、ダイレクトメッセージを通じてコラボや連携の機会を得ることができた。